

市長メッセージ(お盆をお迎えするにあたって)

市民の皆さんへ

来週にはいよいよお盆をお迎えします。ふるさとへの帰省を巡って、安倍総理をはじめ政府関係者のみならず、各地の自治体の首長からも自治体の事情を反映した様々なメッセージが出されておりますが、本市として、それに逐一申し上げるものではありません。ただ、このような中、困惑される住民の方がおられれば、大切に思いますことは、お一人お一人の固有の御事情、御環境もある、その中で個別に、真摯なご判断がなされれば問題はない、大丈夫ですよ、とお伝えしたいと思います。

お盆はご先祖様に感謝の思いを寄せる、昔から、歴史の中で継続して営まれてきた大切な行事です。同時に、ご家族、御縁者以外の他人がどうこう入り込むことが必ずしも心さわしくない、お一人お一人の心の領域、琴線に触れる行事でもあります。

本市として、御帰省される方には、どこの地域からお帰りになるかは関係なく、ふるさととして、心から温かく、うれしく、お迎えをしたいと思います。

私たちとして大切なことは、お盆内外の期間にかかわらず、どんなときでも、どんな場合であっても、感染予防の重要性を常に自覚し行動する、感染予防を引き続き自ら普段の生活の中でしっかり徹底すること、です。

① 社会的距離(できるだけ2m(最低1m))の確保、②マスクの着用、③こまめな手洗い、そして、3密(密集、密接、密着)の回避、です。

さらには、飲食時の大声を控えるなどの予防エチケット、行動にあたっての体調の判断、そして、とりわけ、高齢者や基礎疾患のある方への一層厳格な配慮は、この際、徹底的に行っていただきたい、と思います。

そして最後に、心を込めて繰り返しお伝えしたいことがあります。というのも、このような状況にあって、もしこの先も含め、市内の方の感染がさらに確認されても、感染者の方またそのご家族、関係者を巡り、人権侵害になるようなこと、例えば、誹謗、中傷などは、決して、私たちとして行わない、ということです！

むしろ、感染者の健康回復をご一緒に応援していただき、行政としてもこれを全力で支援してまいります。

いずれにしても、今大切なことはなにより、感染予防の徹底です。市民全体で感染予防対策に取り組み、一丸となってこの難局を乗り越えましょう！

京丹後市長 中山 泰